

## 下妻市庁舎等建設基本構想（案）に対する意見の内容と市の考え方

（ 意見につきましては内容を明確に伝えるため、ほぼ原文のまま掲載させていただきました。）

No.	意見の概要	件数	市の考え方	計画案の修正
1	基本構想（案）のまとめに活用した「市民会議からの報告書」を市民アンケートの結果と同様に添付すべき。	1	「下妻市庁舎建設検討市民会議 基本構想策定に係る報告書」の概要について、掲載させていただきます。	有
2	9ページの(2)施設の現状で、「危険な状況にある」としているが、「庁舎等建設」を待つまでもなく対処すべきです。また、「耐震診断業務から約20年…予想される」のであれば、新たな診断や危険防止策をはかるべきです。	1	<p>本庁舎の耐震対策については、二重の投資を避けるために、新たな耐震診断や耐震補強はせずに、新庁舎の建設を早急に目指すとしています。</p> <p>大規模な地震の対策としては、職員に対し定期的にシェイクアウト訓練を実施するとともに、来庁者の安全確保のための避難誘導について、周知を行っているところです。</p> <p>また、地震災害時の災害対策本部は、耐震性のある第二庁舎に設置するとしており、太陽光発電や蓄電池により、停電時であっても災害対策ができるよう、最低限の設備を擁しております。</p>	無
3	本庁舎や千代川庁舎の長寿命化が不可能であるなら、新たな建築もやむを得ないと思う。しかし、第二庁舎と庁舎東棟は築21年であり、継続使用すべきです。（本庁舎建設場所は不明）	1	第二庁舎や庁舎東棟を含め、現存庁舎の使用の有無については、基本計画の段階で検討してまいります。基本構想の中では、方針の決定は行っておりません。	無
4	庁舎の集約は理解できるが、1ページの文化会館～、～を集約化、複合化する必要はない。まちなぎわい、災害対策の視点からはむしろ分散がのぞ	1	1ページの～の施設の複合化については、限られた財源の中で、公共施設の最適な状況に保つために、複合化は有効な手段の一つと考えられます。今後、基本計画の中で複合化の	無

	<p>ましい。45 ページの「避難施設、備蓄倉庫、救援物資の集約拠点」も同様です。</p> <p>市役所周辺以外の地域の過疎化がいつそう進む心配がある。私は反対だが、4 ページでは「公共施設保有量の 30% (約 4 万 2 千㎡) 以上の削減をめざす」としている。これは、「公共施設の削減 生活が不便 人口減少・税収減」の悪循環に陥る危険性が強い。</p>		<p>内容について検討してまいります。</p> <p>～ の施設については、昭和 40 年代以降に建築された木造の建物であり、市が外郭団体等に行政財産の目的外使用許可や普通財産の貸付けを行っています。これらの建物は老朽化が著しいため解体を検討しています、今後、外郭団体の入居先については調整が必要となります。</p> <p>45 ページの「避難施設、備蓄倉庫、救援物資の集約拠点」については、災害対策本部機能として集約することを指し、現在小学校等に設置している備蓄倉庫を集約することはありません。</p> <p>公共施設等マネジメント基本方針では、公共施設の延床面積を約 30%削減することを目標としておりますが、身の丈に合った形で公共施設を縮小しつつ、サービスについては維持向上することを目的としております。今後の人口減少は避けて通れない問題であり、税収減により財政状況もさらに厳しくなると予想されま。公共施設の削減とともに、効率的な運営によりサービスを維持向上させることで、公共施設に係る全体のコストを削減し、削減分を市民生活に係る部分に回すことで、持続可能な魅力のあるまちづくりにつなげていきたいと考えております。</p>	
5	<p>事業手法は、公設公営とすること。利益を目的とする民間にゆだねる PFI 方式は、採用すべきでない( PFI で実施した体育館の事業で天井が落下した事案があったような記憶がある )。市民の参加と協力を得ながら、市職員の力量と信頼で実施すべきである。</p>	1	<p>事業手法については、現在さまざまな手法を研究している段階です。より効果的な手法を基本計画の段階で検討してまいります。</p>	無

6	<p>15 ページの(3)施設利用状況で、下妻公民館の稼働率が「かなり低い」とし、「貸室名」ごとに状況を明らかにしている。稼働率が低いことは、公民館としての本来の事業が不十分であって、施設を「貸室」と位置付けていることに問題がある。</p>	1	<p>現在、公民館の事業については、下妻公民館のほか、千代川公民館、大宝公民館、移動教室として騰波ノ江、上妻、総上、豊加美地区でそれぞれ事業を行っております。</p> <p>今後とも、多様な学習機会の提供に努めてまいります。</p>	無
7	<p>庁舎内にレストランは不要です。街中の飲食店はどのようなのでしょうか。</p> <p>また、「人気取り」のような施設も不要です。坂東市庁舎には、ボルダリング用の施設がありますが、指導者がいなくて危険であるとともに、職員にとっては業務集中の妨げにもなり、問題外です。</p>	1	<p>庁舎等の建設については、周辺のまちづくりにも波及する事業と考えております。また、庁舎内に備える施設についても、市民の利便性と職員の生産性を考慮しつつ、市民の皆様のご意見をもとに検討してまいります。</p>	無
8	<p>庁舎などの公共施設は、利用する住民の利便性がはかれるとともに、職員にとって働きやすいことが大切である。同時に、住民の期待に応えられるような職員の対応が求められる。そのための十分な職員の配置や、職場の機構が大切である。庁舎・施設建設が目的ではなく、住民のための行政を推進することを目的にしてほしい。</p>	1	<p>庁舎の建設は約 50 年ぶりの事業ですので、市民の利便性の向上や、働き方改革につなげていきたいと考えております。本事業は、単に更新することが目的ではなく、将来を見据えた形で庁舎、機構、職員の働き方、住民サービスなど、さまざまな視点でより良いあり方を検討してまいります。</p>	無